

バスバ付き電流センサ

量産品

2020年搭載開始

- ・現行品(コア式)に対し約55%の質量低減、約64%の小型化
- ・電流検出範囲をカスタマイズ可能

背景・課題

多様な車載システムに適応すべく、小型・軽量化により搭載性を向上する

課題への解決・特徴

用途：BEV / HEV / PHEVバッテリーの電流量(充放電電流)を測定する

特徴・効果

1:車両搭載性の向上

- ・コア廃止による小型・軽量化の実現
- ・バスバ内蔵による組付け性の向上

2:機能追加が可能

- ・2出力タイプの電流範囲の設定が可能
- ・故障診断機能



多様な車載システムに適合可能

仕様・機能

電源電圧 : $5.0V \pm 0.5V$

使用温度 : $-40 \sim 85^{\circ}C$

電流検出範囲: 2出力

① $\pm 80A \sim \pm 200A$

② $\pm 250A \sim \pm 600A$

出力精度 : $\pm 2A$ (オフセット)

$\pm 2\%$ (ゲイン)

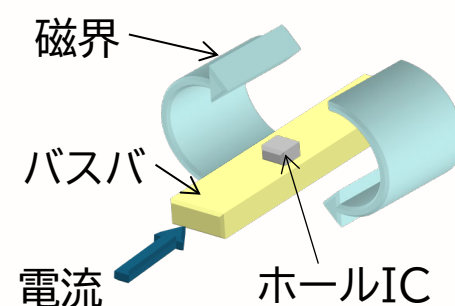
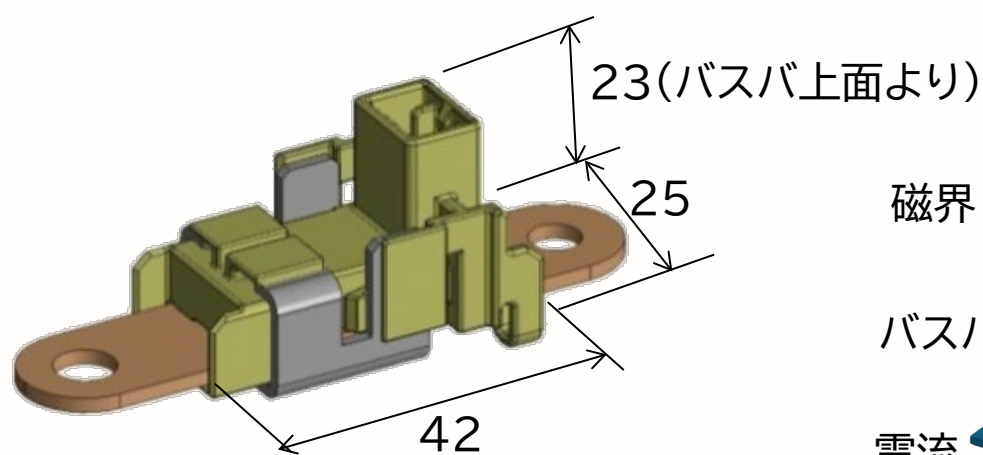
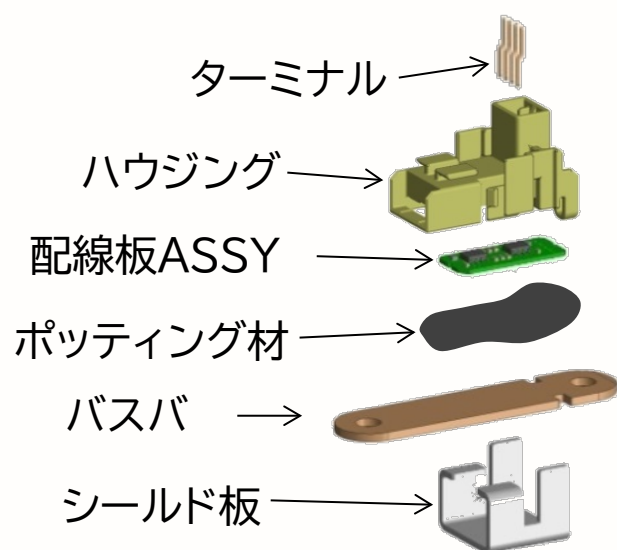
出力方式 : アナログ(レシオメトリック出力)

応答速度 : $100\mu s$ 以下

検出方式 : ホールICによる磁束密度検出

消費電流 : $26mA$ 以下

外観・構造



システム

